

## 地域・社会とのかかわり

荒川化学グループは学術、文化、地域貢献などさまざまな活動を通じ、地域とともに歩む、信頼される企業を目指します。

### ●いわき市に義援金を寄付

2011年5月6日、東日本大震災で被災した福島県いわき市に対して、荒川化学グループ各社および社員・OBからの義援金1千万円を寄付しました。いわき市の尽力もあって、当社小名浜工場は2011年5月19日より全面再開することができましたが、今後も協力して復興に取り組んでいきます。

渡辺いわき市長(左)に  
義援金を渡す谷奥常務(右)



### ●献血活動

日本赤十字社主催の『献血キャンペーン』などの機会に、多くの従業員が献血をおこないました。



献血活動の様子

### ●地域の美化・清掃活動

自治体などのクリーン活動に協力し、各地の事業所で周辺地域のゴミ収集や道路脇の除草、側溝の清掃などを、多くの従業員が積極的に参加しておこないました。



各地の清掃活動の様子

### ●梧州学院に奨学金を授与

荒川化学グループでは、ロジン(松やに)の産地としてゆかりの深い中国との国際交流や産業の発展に貢献できる人材の育成に貢献するため、中国の梧州学院を通じて学生への奨学金による援助活動をおこなっています。



梧州学院奨学金授与式

### ●大井川源流域森林再生協議会へ協賛

南アルプス南麓にある大井川源流域の森林整備を推進し、森林が本来持っている水源かん養などの機能の発揮、木材資源の有効活用による低炭素社会の実現への寄与、活力ある地域づくりを目的として、2011年3月に設立された大井川源流域森林再生協議会へ協賛しています。



富士見峠

## Voice



広西梧州  
荒川化学工業  
行政部  
莫少彬

### 「日本荒川化学奨学金」授与式に参加して

2012年3月6日、中国の梧州市にある梧州学院で2011年度の「日本荒川化学奨学金」授与式がおこなわれました。私自身は4度目の授与式参加ですが、学生たちとの出会いに毎回心が躍ります。

この奨学金の受賞者は普通の学生と違って、全員が家庭の経済事情に深刻な問題を抱えています。しかし、その困難を乗り越えて努力してきた学生たちだからこそ、授与式当日の笑顔は誇りと自信に溢れていてとても印象的でした。

この奨学金制度が、日中友好の架け橋になることはもちろん、学生たち一人ひとりの明るい未来へとつながることを願う気持ちでいっぱいです。